

マラウイ通信

渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーワ県立病院



【床屋】私が住んでいるのは小さな町ですが床屋の数が異様に多い気がします。町の規模としては半径約五十メートル程度です。徒歩数分圏内で完結するほどの小さな町ですが、床屋の数は約二十。マラウイ人は意外とオシャレに気を使う人が多く、その為頻繁に髪を切る(刈る)人が多いのだと思います。男性はバリカンで頭を刈り、女性は坊主頭や付け毛を編んだりします。この床屋ですが日本の理髪店とは異なり、ハサミがありませんし、専用の機械等もありません。髪を切るのに使っている道具はほぼバリカンです。巧みにバリカンを操作し様々なヘアースタイルを作り上げていきます。マラウイ人は直毛ではないので、まずはクシで自分の髪をほどこき美容師(実際に免許などはありません)が整えていきます。私もバリカンで調整したい部分だけいつもお願いしています。カット一回約500円です。破格の値段ですね。また、水もないので日本の様な髪を洗ってもらおうというシステムはありませんが、散髪後にはポロ布で力強く体を叩き、散らかった髪の毛を振り払ってくれます。

【カムズ国際空港】Lilongwe International Airportは、首都リロングウェに位置するマラウイの国際空港です。実はこの空港は現在、日本の支援により拡張工事が行われており今年完成予定です。現在ほぼ完成を迎えており、新しいターミナルを使える事が待ち遠しいです。おそらく私が帰国する頃には完成しているでしょう。改装工事の始まる以前は、雨期になると空港内に滝の様に雨が流れ込んできていたのも懐かしく思います。(笑) この空港、マラウイでは当然一番大きな国際空港なのですが、とてもスッキリした空港です。メイン空港にも関わらず、飛行機が1機か2機?くらいしか常時見る事ができません。外国から来た際は、到着直後からアフリカを体感する事になります。いくつか行ったことのある近隣のアフリカ諸国と比べてもその差は歴然でした。この落ち着いたある空港も、私にとっては、この先の未来に残ってほしいマラウイの一部です。



家の近くの道路でいつも遊んでいる子供達。走っているのを引き留められ、「写真を撮って撮って!」と毎回お願いされます。それなのに何故か無表情。

【輪回し】昨今の日本において、子供たちが自転車の車輪(ホイール)や、廃タイヤを回して外で遊んでいる光景はなかなか見る事が減ってきたかもしれませんが、多くの人が知っている遊びではないでしょうか。調べたところ、この単純な遊びはヨーロッパから中国、アフリカ、アメリカなどでも同様に古くから世界的に行われており、日本では江戸時代より始まったようです。私は勝手に日本の古き遊びだと思っていましたが、輪回しは世界に広がる遊びのようです。共通した遊びを見つけるのも面白さの一つです。

【後記】遂にマラウイで一番古い隊次となりました。残り三か月を切り様々な書類関係や報告書、プレゼン、やり残している事などを考えていると更に時間は加速し、日々があっという間に過ぎて行きます。残りの期間でもマラウイの事をもっと多くの日本人に少しでも知ってもらいたいし、マラウイ人にもまた、日本の事や世界の事をもっと知ってほしいと思います。マラウイにはまだまだ成長するべき事が多くあり、日本人もまた、もっと世界に目を向けて欲しいと感じます。英語も話せず、世界とはかけ離れた生活をしてきた数年前からすると、今を生きる自分は何らかの変化があったと感じます。それは「成長」というよりは「広がった」という言葉がふさわしい気がします。日本とアフリカ、双方の良さを知れて幸せです。